日本海洋学会春季大会 シンポジウム「海洋生物多様性・生態系研究のボトルネックを解消するための、技術開発およびモデリング」のご案内

【主催】

CREST「海洋生物多様性および生態系の保全・再生に資する基盤技術の創出」研究領域 日本海洋学会

【コンビーナー】

小池 勲夫 (琉球大学 監事/JST-CREST 研究総括)

【開催日時・会場】

日時:3月30日(金) 10:00~17:00

会場: 筑波大学第2エリア 2B411号室

【シンポジウム開催趣旨】

現在、海洋の生物多様性および生態系を把握するための研究では、環境を含む広範な生物データの取得技術とその将来予測が1つの大きなボトルネックとなっていると考えられる。このような問題意識をもとに平成23年度からJST/CRESTでこれらのボトルネックを解消するための先進的な計測技術とモデルの研究開発を行い、海洋の生物多様性および生態系の保全・再生に必要な基盤技術を創出するための研究が始まっている。また、計測工学や基礎生命科学などの異分野の研究者との連携研究によって、海洋科学の分野をより広げることが出来ればと言う思いもその背景にはある。

本シンポジウムでは「計測技術開発」と「モデル開発」の2つのテーマを設定し、ボトルネック解消のために何が必要かを具体的な事例をもとに議論することを目的とする。特に計測技術開発では、海洋の生物多様性・生態系研究の大きな進展に必要な技術開発についてこの分野の研究者に具体的に検討して貰い、また、これらの研究に大きく寄与し得るどのような先端計測技術があるかを、計測工学の専門家から紹介して貰う。また、この分野における「モデル開発」については、現時点での到達点に関する共通理解と、どのような目的でモデルを開発していくべきかを研究体制も含めて議論する。

これらの話題提供や議論を通じて、全球的な気候変動や東日本大震災による沿岸生態系の改変などに対し、実証性のある海洋生物多様性・生態系研究に大きく資する計測技術開発やモデリングに関しての理解を深めたい。

【プログラム】

10:00-10:30	シンポジウムの趣旨説明	琉球大学 小池勲夫
10:30-11:00	生態系モデルの今後の展望①	北海道大学 岸道郎
11:00-11:30	生態系モデルの今後の展望②	国際水産資源研究所 岡村寛
11:30-12:00	生態系モデルに関する総合討論	司会 小池勲夫
12:00-13:00	昼食	
13:00-13:30	海洋環境研究のための技術開発	東京海洋大学 石丸隆
13:30-14:00	低次生態系研究のための技術開発	東京大学 木暮一啓
14:00-14:30	高次生態系研究のための技術開発	水産工学研究所 赤松友成
14:30-15:00	海洋生物多様性の計測:技術シーズ	に求められるもの
	JST	研究開発戦略センター 佐藤 勝昭
15:00-15:15	休憩	
15:15-15:45	海洋におけるセンサー技術の開発	東京大学 藤井輝夫
15:45-16:15	海洋におけるプラットフォーム技術	の開発 東京大学 浦環
16:15-17:00	技術開発に関する総合討論	司会 小池勲夫

CREST「海洋生物多様性および生態系の保全・再生に資する基盤技術の創出」

研究領域 小池研究総括による研究領域説明会のご案内

●趣旨

小池 勲夫 研究総括 (琉球大学 監事) による研究領域説明会を下記の通り、 開催します。ご関心のある多くの方々の参加をお待ちしております。

●開催日時 · 場所

東京会場: 2012年4月13日(金) 13時00分~15時00分

JST 東京本部別館 2 階会議室A

(東京都千代田区五番町7番地 K's五番町)

http://www.jst.go.jp/koutsu.html

●説明会の内容

- ・小池 勲夫 研究総括から、本研究領域の目的・趣旨、研究の進め方について説明
- 質疑応答
- ※ 研究領域の概要・選考方針、募集方法等は下記ページをご覧ください。 (募集開始後に更新予定です)

http://www.senryaku.jst.go.jp/teian.html

●申込・問い合わせ先

下記メールアドレスまで、お名前、ご所属をご記入の上、お申し込みください。

E-mail: okuyama@jst.go.jp

担当: JST イノベーション推進本部 研究領域総合運営部 奥山

※事前申し込みが無くても、満席でなければ、当日参加いただけます。